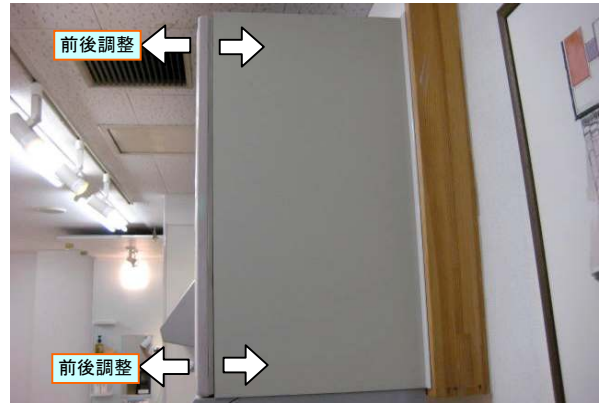
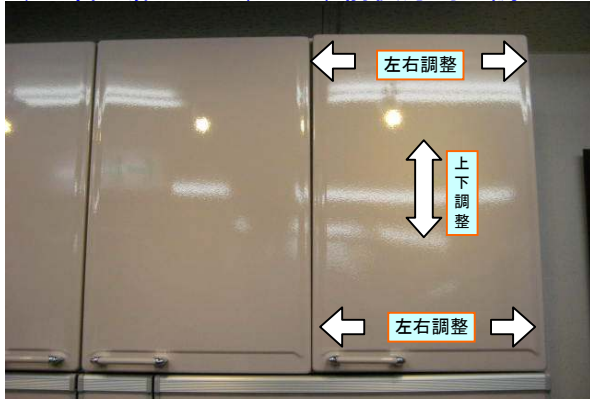
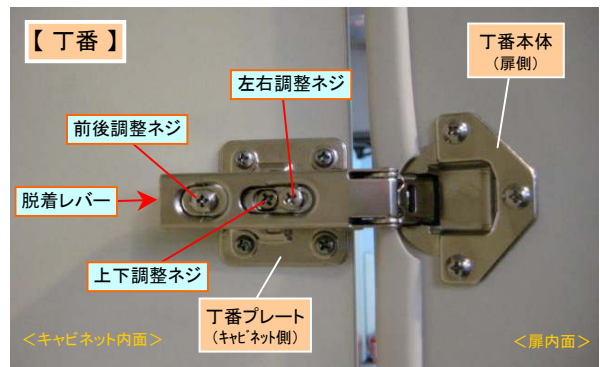


◇丁番で扉の上下、左右、前後方向の調整が出来ます。



<丁番各部の名称>



『扉の脱着方法』



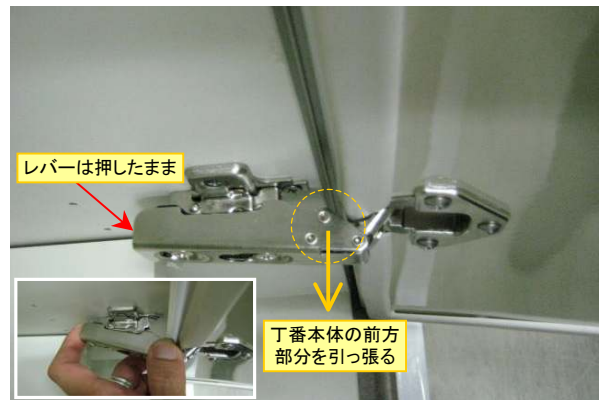
【扉の取り外し手順】

- (1) 扉が落下しないように扉を片手で持ちます。
- (2) もう一方の手で下側の丁番を外します。
- (3) 上側の丁番を外し、扉を外します。

※ 扉の取り付けは、取り外しと逆の手順になります。
上側⇒下側の順に丁番を取り付けます。

注意) 扉の脱着は扉が落下しないよう、最後まで扉から手を離さないでください。

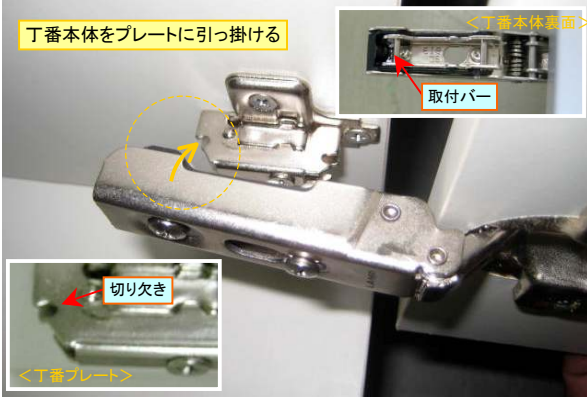
<取り外し方法>



丁番本体裏面の脱着レバーを押します。

脱着レバーを押したままで、丁番本体の前方部分を手前に引っ張ると丁番が外れます。

＜取り付け方法＞



D番本体裏面の取付バーをD番プレートの切り欠き部分に引っ掛けます。

D番本体の前方部分を押しと、D番本体がプレートに取り付きます。

『扉の調整方法』

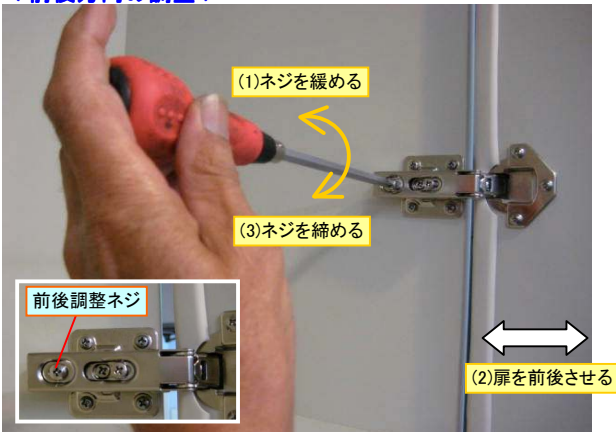
＜左右方向の調整＞



隣の扉とのスキ間を均一にする場合に左右を調整します。
「左右調整ネジ」を(+)ドライバーで左右に廻すと、扉が動きます。
右開きの扉はネジを左に廻すと左へ、右に廻すと右へ動きます。
左開きの扉はネジを左に廻すと右へ、右に廻すと左へ動きます。

上下のD番を調整し、スキ間を均一にします。
調整後、「前後調整ネジ」が緩みますので、ネジを締め直します。

＜前後方向の調整＞



キャビネットと扉にスキ間がある場合や隣の扉と面があっていない場合に前後を調整します。

「前後調整ネジ」を(+)ドライバーで緩めます。

注意)ネジを緩めると扉がガクツとなりますので、扉を持ちながら緩めてください。

＜＜危険＞＞

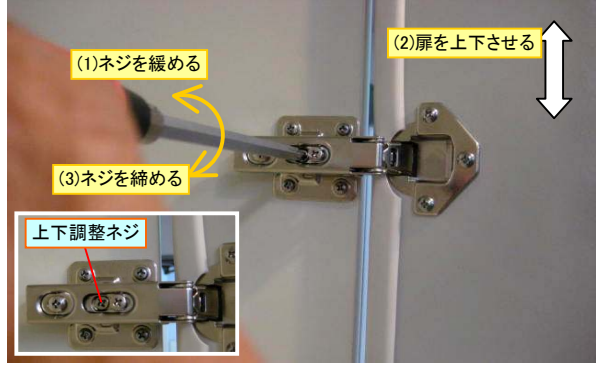
ネジを緩め過ぎるとネジが外れ、扉が脱落します！絶対にネジは外さないでください！

扉が前後しますので、扉の位置に合わせて、「前後調整ネジ」を締めます。

注意)この時、ネジはしっかり締めてください。ネジの締めが甘い場合は後日、扉が

『がたつく』場合があります。また、その場合はネジを締め直してください。

＜上下方向の調整＞



隣の扉と高さが段違いの場合に上下を調整します。

扉の上下両方のD番の「上下調整ネジ」を(+)ドライバーで緩めます。

注意)ネジを緩めると扉がガクツとなりますので、扉を持ちながら緩めてください。

扉が上下しますので、扉の高さを合わせて、「上下調整ネジ」を締めます。

注意)この時、ネジはしっかり締めてください。ネジの締めが甘い場合は後日、扉が

『がたつく』場合があります。また、その場合はネジを締め直してください。

注意)「調整ネジ」以外のネジはD番を扉やキャビネットに取り付けるネジのため、通常は廻さないでください。扉が『がたつく』場合にのみ、これらのネジを締め直してください。